

SENJU WEB Seminar

「眼瞼炎・マイボーム腺機能不全 治療戦略2023」

2023

2/21(火) 19:00~20:00



※本講演会は事前登録が必要です。
下記URLまたは右記の二次元コードよりご登録ください。

https://vcube-senju.zoom.us/webinar/register/WN_DUq1VsMtSay-262K0xB5oA

座長 **前原 紘基先生**
福島医科大学眼科学講座 助教

演者 **有田 玲子先生**
伊藤医院 眼科 副院長
LIME研究会代表



1994 京都府立医科大学卒業
2001 京都府立医科大学大学院博士課程修了
2002 慶應義塾大学眼科助手
2005 伊藤医院眼科副院長
2007 東京大学眼科臨床研究員
2011 慶應義塾大学眼科講師(非常勤)
2012 LIME研究会代表
2021 日本角膜学会評議員

主催 千寿製薬株式会社

「眼瞼炎・マイボーム腺機能不全 治療戦略2023」

2023年2月、日本初のマイボーム腺機能不全診療ガイドラインが策定された。

マイボーム腺機能不全(Meibomian Gland Dysfunction, MGD)は眼瞼炎の一因であり、蒸発亢進型ドライアイの主因である。日常の一般診療において私たち眼科医が遭遇する最も頻度の高い疾患のひとつだが失明しない疾患でもあり、見過ごされることが多かった。

しかしながらその眼不快感に悩まされる患者は多く、症状も長期にわたる場合が多い。

MGDはここ数年、根本治療ともなりうる治療オプションが複数出現してきたため前眼部の専門家にとってはもちろん、内眼手術後のMGDが術後不満足の4割を占めることが明らかになるにつれ眼科サージャンにも治療すべき疾患として国際的に注目を浴びているHOTな疾患である。また昨今のコロナ禍におけるVDT使用時間の増加に伴うMGD患者の増加は明らかで、近年、特に「瞼」に対する重要性が高まっていることは言うまでもない。

本セミナーではマイボーム腺機能不全診療ガイドラインの内容や、実際のMGD患者の臨床例をまじえながらのアジスロマイシン点眼液の最適な適応症例、患者への服薬指導、セルフケア、世界最先端の話題までの一連を披露し、明日からの臨床に役に立つ内容をお届けする。

参加登録方法

表面に記載されているURLまたは二次元コードより事前登録をお願いいたします。

お名前、ご施設名、メールアドレスをご入力いただきご登録をお願いします。

Registration form with the following fields:

- 名* (Name)
- 姓* (Surname)
- メールアドレス* (Email address)
- メールアドレスを再入力* (Re-enter email address)
- 施設名* (Facility name)

Below the fields, there is a checkbox for consent: ここに登録することにより、私は、プライバシーに関する声明と サービス規約に同意します。

A blue button labeled "登録" (Register) is at the bottom.

ご登録完了後、右記のメールが届きます。当日は「ウェビナーに参加」よりアクセスしてご視聴ください。



<お問合せ先>
樋口 研人
080-6199-4757
k-higuchi@senju.co.jp